

カンキツ新品種「津之望(つのぞみ)」の果実特性

果樹試験場

[研究のねらい]

中晩性カンキツである「せとか」や「はるみ」は食味がよく県内で広く栽培されているが、年によって凍害を受けることや、隔年結果などの課題があります。そこで、(独)農研機構果樹研究所で「清見」に「アンコール」を交配し育成され、平成 23 年に品種登録された早生カンキツ「津之望」について、本県での果実特性を明らかにしました。

[研究の成果]

1. 果実重は 160～190g で、浮皮の発生はほとんど見られません(表1、図1)。
2. 果実肥大は 10 月頃から緩慢になり 11 月中旬には横径 70～75mm に達します(図2)。摘果が遅れ着果量が多くなると 60mm 前後の果実になります。
3. 果実品質は 12 月中下旬には糖度 12～13、クエン酸含有率は 1%以下になります(表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 12月にクエン酸含有率が1%以下となるため年内収穫が可能です。
2. 結実性が良好なため、着果過多樹は粗摘果重点の管理が必要です。
3. 植栽後の幼木には定期的なかん水、芽かきおよび施肥を行い樹冠拡大に努める必要があります。

表1 「津之望」および「せとか」の果実特性(2013年調査)

品種名	果皮色	果形	果実重(g)	果肉歩合(%)	剥皮性	浮皮	裂果	す上がり
津之望	鮮橙	扁球形	176	81.5	中	無	無	無
せとか	黄橙	扁球形	216	82.4	中	無	無	無

注) 剥皮性: 易:手で容易に剥ける、中:中間、難:手で剥くのは困難

表2 「津之望」果実の果実品質の推移

(和果試 2013年)

	11/15	11/29	12/13	1/17
糖度(Brix)	11.4	12.3	12.6	13.0
クエン酸含有率(%)	1.06	1.03	0.78	0.72

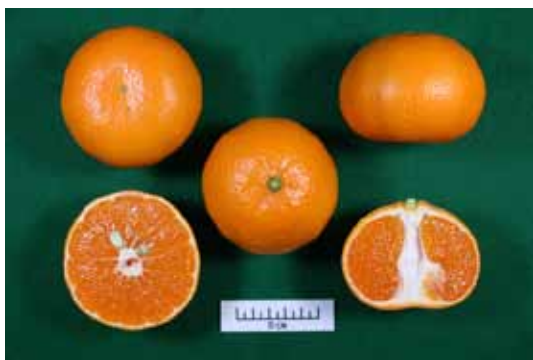


図1 「津之望」の果実

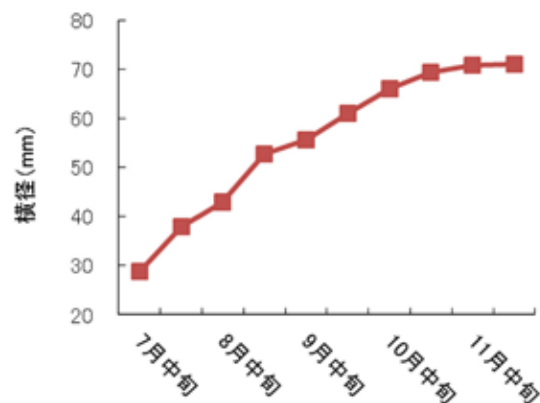


図2 「津之望」の果実横径の推移

(2013年 n=20)

(問い合わせ先 0737-52-4320)